中島慶子

市全世帯の60％が高齢者のいる世帯。高齢者の計画、福祉計画の対応策について

中島　認知症の見守り支援シール事業の状況は。

答弁　見守り支援シールにつきましては、ＱＲコードをスマホのアプリ上で読んでいただくと、そのご家族につながる（チャット形式の伝言板）ことで、安否確認をしており、認知症の人が行方不明になった際、シールをつけられていることで安全確保が図られます。

中島　「多久市暮らしサポートセンター」事業について。

答弁　おでかけサポート事業の中で、令和４年７月末に病院や買物の付添い輸送サービスを開始し、現在52名おられます。令和５年２月までの利用件数は延べ２０２件、支援するおでかけサポーターは20名となっています。

利用者がこのサービスを受けることで住み慣れた自宅での生活が継続できていることと考えています。

▲サンプル

香月正則

児童生徒の登下校の安全について

香月　学校安全計画の中で、犯罪等に対する子どもの危険回避についての教育の内容は。

答弁　不審者が学校内に侵入した際の対応として、不審者対応避難訓練を実施し、緊急時でも児童生徒が安全に避難できるよう指導を行っています。学級活動などでは、例えば低学年で、場面に合わせ、いかのおすし――行かない・乗らない・大声で叫ぶ・すぐに逃げる・知らせるの合い言葉とともに、指導する時間を設けたり、中高学年ではＳＮＳやインターネットゲームの使用により犯罪に巻き込まれることを防止する教室を警察と連携して行ったりするなど、発達の段階に応じた指導にも取り組んでいます。

香月　個人などの家に外も映るように防犯カメラを設置することを条件に費用の補助を行っている自治体があるが検討してみては。

答弁　防犯カメラは犯罪への抑止効果があると考えられていますので、周辺自治体における設置状況や事例、補助制度の内容を検証して、多久市防犯協会、警察署などの関係機関との協議を行い、防犯カメラの設置費用の補助について研究していきたいと考えています。

【その他の質問】

▼県立大学誘致について

田渕　厚

道路管理について

田渕　道路はポットホールといわれる穴が、梅雨時期など雨の多い時期に発生しやすいが、車両が走行する時に騒音や振動が生じ沿道に影響を及ぼす、こうした補修は年間どれ位あるのか。

答弁　職員で可能な修繕は年間に約１００か所以上、業者による補修は年間約20か所程度です。

田渕　ポットホールや剥離したアスファルト混合物が飛び跳ね車両の損傷、自転車やバイクの転倒事故などのリスクがある、そうした事例はあるのか。

答弁　平成30年に３件、令和２年に１件の自動車のタイヤ損傷が発生しています。

田渕　道路補修工事は優先順位があるのか。

答弁　優先順位は道路パトロールや地元要望などを基に路面状況を確認し、補修の年次計画を立て実施します。路面点検は、国土交通省の路面点検要領に基づき診断しています。

田渕　道路は車や歩行者、自転車などの通行や、電柱、水道管、下水道管などが埋設されており、生活には切り離せなく重要です。道路が水災害などで陥没や壊れると私たちの日常生活が大変になる。こうした事例はどれ位あるのか。

答弁　令和元年から令和３年は多くの災害が発生しましたが、復旧工事は令和４年度末で全て完了予定です。

國信好永

多久市の将来像について

國信　多久市北部工業団地相の浦工区を28年もの間埋めきれなかったのはなぜか。

答弁　景気動向や立地などの条件もあります。課題の中で工夫しながら企業誘致を進めてきました。今後も市や民間遊休地も含め企業誘致に努めていきます。

國信　人口減少が進み市内で中央校のみになるのではという話を聞くが。

答弁　現時点では、３校体制を維持していく方針は変わっていません。

國信　ＴＡＱＵＡについての過疎債の返済については。

答弁　ＴＡＱＵＡ建設の過疎債については、３年据え置きの12年間で返済を行う予定です。

國信　旧老人福祉センター「むつみ荘」の代替施設については。

答弁　ＴＡＱＵＡ内に整備した交流スペース「彩り」の利用者増の取り組みに努めます。

國信　西多久多目的広場の経済効果は。

答弁　大会等開催時、市内の商店やコンビニなどでの商品購入や弁当の予約などがあり、一定の効果があると考えています。

國信　交流センターあいぱれっとの今後の利用は。

答弁　一般社団法人たく21と連携して利活用に取り組みます。

國信　多久市グリーンパークの利用者増の手段は。

答弁　情報発信・大会やイベント誘致等、利用促進に努めていきます。

國信　新公立病院の過疎債返済は。

答弁　30年間での返済を計画しています。